国語科学習指導案

平成２１年 ９月７日（月）	第７時限

普通　科	2年　5組	教室　2年5組教室	指　導　者	稲葉　順子
単元名	自己を表現しよう 文化祭クラス企画「○高46景展」の制作		教　科　書	現代文
			発　行　所	数研出版

単元目標

- 自分の意見を積極的に表現しようとする。（関心・意欲・態度）
- 他者に読まれる文章を書くことができる。（書く能力）
- 文法や表記を正しく用いた文章を書くことができる。（知識・理解）

単元の評価規準

関心・意欲・態度	書く能力	知識・理解
・　自分の意見を積極的に表現しようとしている。	①　他者に読まれる文章を書いている。 ②　様々な言葉で表現している。	・　文法や表記を正しく用いた文章を書いている。

指導と評価の計画

全7時間扱い

1時間目　学習活動　高校生活の中で自分の好きなテーマ（場所，景色，人など）を三つ選び，簡単に説明する。
評価規準　・ワークシート①に取り組み，自分の好きなテーマを発見しようとしている。
・三つのテーマについて，それぞれの魅力や自分が好きな理由を，簡単に説明している。
指導上の留意点　・ワークシート①を完成させた生徒には，三つのテーマのうち最も取り組みたいものを選ばせる。
・ワークシート①で，一つのテーマも挙げられない生徒には，一日の学校生活を場面ごとに振り返り，印象の強いものを挙げさせる。

2時間目　学習活動　三つのテーマから一つを選び，400字程度の紹介文を書く。
評価規準　・他者に読まれることを意識し，テーマを選択しようとしている。
・選択したテーマの魅力や，それを自分が好きな理由について，説明する文章を書いている。
指導上の留意点　・紹介文の書けた生徒には，自分の文章を読み返し，文法や表記の間違いがあれば訂正させる。
・テーマを選択できない生徒には，三つの候補からより自分らしさや視点の斬新さがあるものを指摘し，選択の参考にさせる。

3時間目　学習活動　紹介文を読み合い，添削をする。**＜本時＞**

4時間目　学習活動　前の時間に添削された内容を踏まえて，自分の文章を推敲する。
評価規準　・添削の内容を踏まえて，より他者が理解しやすい文章を書こうとしている。
・「いい景色です」「気に入っています」などだけでなく，様々な言葉で具体的な表現をしている。
指導上の留意点　・推敲が終了した生徒には，友人同士で読み合い，分かりづらい箇所や文法や表記の間違いがないか最終確認をさせる。
・推敲ができない生徒には，添削された内容を再確認させる。添削をした友人や教員と話し合い，指示内容を確認させる。教員からは，選択したテーマの魅力や，それを自分が好きな理由について，生徒がより具体的な答えを導けるような質問を与える。

5時間目　学習活動　完成した文章を，ワープロで清書する。**＜情報処理科目との連携＞**
評価規準　フォーマットに従った清書をすることができる。
指導上の留意点　フォーマットに従っていない箇所がある生徒には，それを指摘し，訂正させる。

6時間目　学習活動　・文章と写真を台紙に張り，展示する。**＜文化祭クラス企画＞**
・見学者の方から，感想をいただく。自分たちでもクラス全員の作品を鑑賞する。
評価規準　・友人たちと協力し，見学者の方が鑑賞しやすい展示をしようとしている。
・積極的に作品の鑑賞をしている。
指導上の留意点　・展示として見づらい箇所があれば，訂正させる。
・鑑賞に消極的な生徒には，気に入った作品や，作者と作品に意外性のあるものを指摘させる質問などをして，他者の作品に興味をもたせる。

7時間目　学習活動　見学者の方々や友人たちから寄せられた感想を読み，ワークシートを使ってこれまでの活動全体の振り返りをする。
評価規準　ワークシートに取り組み，積極的に活動を振り返ろうとしている。
指導上の留意点　これまでの活動の成果を指摘し，今後の活動へつなげていくことを確認させる。

本時目標

第（　3　）時（全　7　時間中）
・友人の書いた紹介文に対し，積極的に感想を書き，添削をしようとしている。（関心・意欲・態度）
・友人からの意見を基に，自分の紹介文をより良い表現に推敲することができる。（書く能力①）
・正しい文法や表記を用いた文章を書くことができる。（知識・理解）

資料

ワークシート③，④

	学習内容	学　習　活　動	時間	指導上の留意点及び評価の実際
導入	・本時の学習内容を確認する。	・前の時間に書いた紹介文を読み返す。 ・本時は，紹介文をより良いものにするために，添削を行うことを確認する。	4分	・より良い文章にしていくために，他者に対し率直に意見を述べるよう指示する。
	・添削の練習をする。	・添削例を読み，添削するポイントを理解する。 ・ワークシート③の記入の仕方を理解する。	8分	

展開	展開	・友人の紹介文を添削する。	・２人組になり，互いの紹介文を読み合う。	3分	・相手の紹介文が未完成だったり，極端に短かったりする場合には，質問を三つ考えさせる。 質問例：そのテーマにはどんな魅力があるのか。 そのテーマはどこにあるのか。 もっと詳しく知りたいところ。
			・読んだ紹介文についてワークシート③を記入する。	10分	評価規準 ・積極的にワークシート③に取り組もうとしている。（関心・意欲・態度） ・ワークシート③Ｑ３に取り組み，正しい文法や表記を用いた文章を書くことができる。（知識・理解）
			・自分の書いたワークシート③を相手に渡し，指摘した内容について説明する。	10分	十分満足できる状況の生徒への手立て ・完成したワークシート③を読み返し，相手に分かり易く書けているか確認させる。 ・紹介文を改めて読み返し，「きれい」「良い」「好き」などありふれた言葉だけで表現された箇所があれば，指摘し，Ｑ２「もっと詳しく知りたいこと」の項目に加えさせる。 努力を要する生徒への手立て ・紹介文を改めて読み返し，Ｑ１「印象に残ったところ。素敵だと思ったところ」やQ２「もっと詳しく知りたいところ」の項目に当てはまる部分に線を引かせる。
	開	・自分の紹介文を推敲する。	・ワークシート③のＱ２で指摘された箇所についてワークシート④を記入する。	10分	・推敲は次回の授業でも行うため，本時は一箇所程度行うことを確認する。特にワークシート③のＱ２で指摘された一箇所から取り組むよう指示する。 評価規準 ・ワークシート④作業ウ，エに取り組み，文章をより良い表現になるよう推敲することができる。（書く能力①） ・ワークシート④作業オに取り組み，正しい文法や表記を用いた文章を書くことができる。（知識・理解） 十分満足できる状況の生徒への手立て ・ワークシート作業エによって推敲した紹介文を読み返し，推敲前よりもより良い表現なったか確認させる。さらに良い表現を思いつけば，改めさせる。 ・別の箇所についてワークシート④作業ウ，エに取り組ませる。 努力を要する生徒への手立て ・こちらから補助的な質問を投げかけ，ワークシート④作業ウに取り組ませる。 ・ワークシート④作業ウに取り組めれば，質問への回答の形か紹介文の形に文体を直させる。
	まとめ	・本時の学習を振り返る。 ・次回の学習内容を確認する。	・より良い文章にするための添削，推敲のポイントを確認する。 ・次回は紹介文の推敲を完成させる予定であることを確認する。	5分	・文章をより良い表現にしていくために，他者に添削してもらうことの有効性を改めて指摘する。